

令和3年

南阿蘇村成人式

新型コロナウイルス感染症が拡大を続けるなか、令和3年南阿蘇村成人式が1月3日、ホテルグリーンピア南阿蘇で開催されました。県内でもコロナの影響により成人式を延期もしくは中止する市町村も出るなど異例の年となりましたが、南阿蘇村では感染症対策を十分に取組んだうえでの実施となりました。

新型コロナウイルス感染症予防に対する取組み

- ・規模の縮小（懇親会の実施なし、式典時間の短縮など）
- ・参加者の限定（新成人、関係者のみの参加）
- ・入場券の事前配布による体調の確認
- ・会場入場時の検温・アルコール消毒の実施
- ・マスク着用の徹底
- ・式典時の席のソーシャルディスタンスの確保
- ・成人式に参加できない保護者、関係者に対してのインターネット動画サイトYouTubeを利用したライブ配信の実施
- ・成人式の様子を撮影したDVDを後日配布

今年の成人式テーマ

じゅよ

受与

「受与」という言葉は、今回の成人式のテーマを決めるにあたり作成された造語であり、「受」は今まで親や周りの大人に影響を受けて成長してきたことを表し、「与」は成人になることで今度は自分たちが他の人に何かを与えることができる存在に成長したいという意味が込められており、受ける側から与える側へ成長した新成人を表した言葉です。

今回、成人を迎えたのは平成12年4月2日から平成13年4月1日に生まれた、95人（出席者66人）。

式典では、新成人の工藤雄大さん（白水中）・松本朝弥さん（久木野中）・岡麻椰さん（長陽中）が総合司会

を務め、松野孝雄教育長から挨拶として「新型コロナウイルス感染症の流行により、成人式の実施について悩んだが、成人となる皆さまにとっては一生に一回の節目であるため最大の予防策を取り実施することを決めた。南阿蘇村の将来は若い皆さんの力にかかっている」と新成人に対しての言葉がありました。

また、後藤美春さん（白水中）と神崎尽平さん（長陽中）が新成人を代表し、「新型コロナウイルス感染症の影響が及ぶなか、同級生と再会し無事に成人式を迎えることができ、とても嬉しく思う。熊本地震による甚大な被害から復興・発展していく南阿蘇村の姿を通して多くの方々の努力と支えがあったことを強く実感できた。今日のこの日を人生の一つの節目とし、南阿蘇村で生まれた誇りを持ち、多くの方々に希望を与えられる人材になることを約束する」と誓いの言葉を述べました。

新成人の主張



下田 惲悦さん（白水中）

県内の大学で観光・交通の勉強をしています。まだ成人になったという実感は湧きませんが、これからは自分の行動に責任が伴ってくるので親に迷惑をかけないように自立した立派な大人になりたいです。



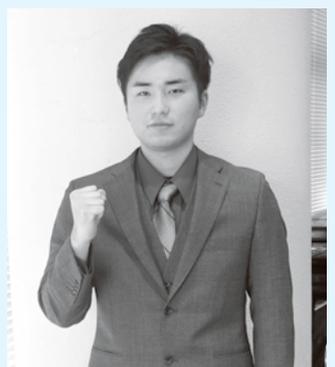
藤本 美千明さん（白水中）

宮崎で航空自衛隊として勤務しています。親に20年間お世話になってきたことは「感謝」という言葉以上の思いがあります。これからは目に見える形での恩返しができたら嬉しいです。ご両親から貰われた花束を抱いて



①今年の成人式の一番乗りはこの三人(左から長野辰哉さん、本郷雅志さん、鮫島琉生さん いずれも長陽中) ②コロナ対策でしっかりと検温を ③受付時に、パーティーション越しでの久しぶりの再会 ④密にならないように、ソーシャルディスタンスを心がけた座席配置 ⑤コロナ対策で会場に入ることができないお母様と入り口で記念撮影(吉岡杏優さんと母の幸さん 長陽中) ⑥みんなで一緒にハイピース!! ⑦今回の総司会はこの3人(写真左から 松本朔弥さん、工藤雄大さん、岡麻椰さん) ⑧誓いの言葉(後藤美香さん、神崎尽平さん) ⑨中学校時代の恩師にも駆けつけていただきました ⑩旧白水中学校集合写真 ⑪旧久木野中学校集合写真 ⑫旧長陽中学校集合写真

松本 朔弥さん(久木野中)



県内の大学で現在はオンライン授業で勉学に励んでいます。久しぶりに会えた同級生も多く、このような状況(コロナ禍)でも成人式を開催できたことは大変嬉しいです。これまでの周りから守られてきた子どもではなく、何かを与えられる大人になるという自覚を持ち目標に向かって精一杯頑張っていきます。

新成人が生まれた年

2000(平成12)年4月2日～
2001(平成13)年4月1日

社会の主な出来事

- ・シドニーオリンピック開催、陸上の高橋尚子選手らが金メダル
- ・プレイステーション2が大ブーム

当時の流行語

- ・おっはー
- ・IT革命

ヒットソング

- ・TSUNAMI(サザンオールスターズ)
- ・桜坂(福山雅也)